

【 保 健 予 防 課 】

第1 感染症対策事業

1 感染症予防事業

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（平成10年法律第114号、以下「法」という。）に基づき、感染症の発生の予防及びそのまん延防止のための疫学調査、病原体検査、健康診断、消毒指導などを行っている。また、患者に対する就業制限や入院勧告等を実施し、入院を勧告した患者の医療費の公費負担を行っている。

(1) 全数把握対象疾患届出数（新型コロナウイルス感染症を除く。）

ア 一類感染症、二類感染症（結核を除く。）については届出無し。

イ 三類感染症 (単位：件)

| 感染症名 | 報告件数 | 内 訳 |
|-------------|------|-----------------|
| 腸管出血性大腸菌感染症 | 5 | 0111(1)、0157(4) |

ウ 四類感染症 (単位：件)

| 感染症名 | 報告件数 | 内 訳 |
|---------|------|-----|
| E型肝炎 | 2 | |
| つつが虫病 | 2 | |
| 日本紅斑熱 | 1 | |
| ライム病 | 1 | |
| レジオネラ症 | 10 | |
| レプトスピラ症 | 2 | |

エ 五類感染症 (単位：件)

| 感染症名 | 報告件数 | 内 訳 |
|-------------------------|------|--|
| アメーバ赤痢 | 3 | |
| ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。） | 1 | B型(1) |
| カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 | 4 | |
| 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | 1 | |
| 後天性免疫不全症候群 | 2 | |
| 侵襲性インフルエンザ菌感染症 | 2 | ワクチン接種歴：有(1)、不明(1) |
| 侵襲性肺炎球菌感染症 | 8 | ワクチン接種歴：有(3)、不明(5) |
| 水痘（入院例に限る。） | 3 | ワクチン接種歴：有(2)、無(1) |
| 梅毒 | 19 | 早期顕症梅毒（I期）(6)、早期顕症梅毒（II期）(8)、晩期顕症梅毒(1)、無症候（無症状病原体保有者）(2)、先天梅毒(2) |
| 破傷風 | 1 | |
| 百日咳 | 1 | |

(2) 社会福祉施設等の感染症集団発生状況

(単位：件)

| 感染症名 | 報告件数 | 内訳 |
|---|------|-------------------------------------|
| インフルエンザ | 73 | 児童福祉施設(72)、老人福祉施設(1) |
| 新型コロナウイルス感染症 | 29 | 児童福祉施設(4)、老人福祉施設(24) 障がい者支援施設(1) |
| ヒトメタニューモウイルス | 1 | 児童福祉施設(1) |
| ヘルパンギーナ | 1 | 児童福祉施設(1) |
| インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症 | 2 | 児童福祉施設(2) |
| RS ウイルス、手足口病 | 1 | 児童福祉施設(1) |
| インフルエンザ、ヒトメタニューモウイルス、アデノウイルス、プール熱、流行性角結膜炎 | 1 | 児童福祉施設(1) |
| 原因不明(発熱) | 4 | 児童福祉施設(4) |

(3) 集団かぜ(インフルエンザ様疾患)による学校等の臨時休業報告状況

(単位：件)

| | 休校 | 学年閉鎖 | 学級閉鎖 | 計 |
|------|----|------|------|-----|
| 保育所 | — | — | 71 | 71 |
| 幼稚園 | — | — | 11 | 11 |
| 小学校 | — | 1 | 270 | 271 |
| 中学校 | — | 1 | 56 | 57 |
| 高等学校 | — | 3 | 33 | 36 |
| その他 | — | 2 | 4 | 6 |
| 計 | — | 7 | 445 | 452 |

(4) 就業制限及び入院勧告状況(結核を除く。)

(単位：件)

| 区分 | 件数 | 内訳 |
|-------------|----|------------------|
| 就業制限 | 3 | 腸管出血性大腸菌感染症(3) |
| 入院勧告(法第19条) | 23 | 新型コロナウイルス感染症(23) |
| 入院勧告(法第20条) | 26 | 新型コロナウイルス感染症(26) |

(5) 入院医療費公費負担状況(結核を除く。)

(単位：件)

| 区分 | 件数 |
|-----------|-----|
| 社会保険支払基金分 | 138 |
| 国保連合会分 | 399 |

(6) 健康教育(生涯学習市職員出前講座を含む。)

| 内容 | 実施回数 (回) | 参加人数 (人) |
|----------------------|-------------|-------------|
| エイズ・性感染症(中高生向け思春期教育) | 13 | 2,348 |

(7) 岡崎市感染症対策講演会

感染症対策に係る知識の普及啓発を行うため、医療・介護従事者等を対象とした講演会等を開催している。

(単位：人)

| 開催日 | 演題名 | 講師 | 会場 | 対象者 | 参加人数 |
|-------|---|-------------------------------------|-----------------------|------------------|------|
| 12月7日 | 高齢者施設における新型コロナウイルス感染症の現状と対策 今後の感染対策を考える | 愛知医科大学病院 副院長 救急診療部 教授 加納 秀記 氏 | 岡崎市役所 分館 202会議室 | 岡崎市内 高齢者施設関係者 | 70 |

※ 開催方式：会場とZoomによるハイブリッド開催

2 感染症発生動向調査事業

「愛知県感染症発生動向調査事業実施要綱」に基づき、定点把握対象の五類感染症及び法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症の患者の発生動向を把握するため、医療機関（指定届出機関（定点））から患者情報、疑似症情報及び病原体情報を収集・解析し、関係機関等に情報の還元を行い、適宜市民に対して流行している感染症への注意喚起を行っている。

(1) 指定届出機関（定点）（令和6年3月31日現在）

（単位：機関）

| 患者定点数 | | | | 眼科 | STD | 基幹 | 疑似症 | 病原体 定点 | 指定届 出機関 | 指定提 出機関 |
|------------------|----|----|----|----|-----|----|-----|-----------|------------|------------|
| インフルエンザ/COVID-19 | | | | | | | | | | |
| 小児科 | 内科 | 小計 | 実数 | | | | | | | |
| 7 | 5 | 12 | 11 | 2 | 4 | 1 | 2 | 2 | 16 | 2 |

(2) 疾患別病原体検査

（単位：件）

| 疾患名 | 上気道炎 | 感染性胃腸炎 | 日本紅斑熱 | 脳炎 | インフルエンザ | RSウイルス感染症 | つつが虫病 | エムポックス | レプトスピラ症 | パレコウイルス感染症 | ヘルパンギーナ | ライム病 | ウイルス気管支炎 | ヒトメタニューモ | 不明 | 計 |
|-----|------|--------|-------|----|---------|-----------|-------|--------|---------|------------|---------|------|----------|----------|----|----|
| 件数 | 7 | 1 | 1 | 1 | 4 | 1 | 2 | 1 | 4 | 4 | 2 | 1 | 1 | | 28 | 58 |

※検査は愛知県衛生研究所又は国立感染症研究所に依頼

(3) 定点把握対象疾患報告（週報は当該年第14週から翌年第13週までの報告）（単位：件）

| 感染症名 | 年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 |
|---|----|-------|-------|-------|
| RSウイルス感染症（週報） | | 720 | 592 | 519 |
| 咽頭結膜熱（週報） | | 24 | 21 | 412 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（週報） | | 195 | 102 | 715 |
| 感染性胃腸炎（週報） | | 2,366 | 3,136 | 4,082 |
| 水痘（週報） | | 29 | 29 | 37 |
| 手足口病（週報） | | 58 | 603 | 86 |
| 伝染性紅斑（週報） | | 8 | 5 | 5 |
| 突発性発しん（週報） | | 232 | 181 | 138 |
| ヘルパンギーナ（週報） | | 75 | 208 | 477 |
| 流行性耳下腺炎（週報） | | 23 | 16 | 16 |
| インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）（週報） | | — | 1,276 | 9,524 |
| インフルエンザによる入院患者（週報） | | — | 18 | 117 |
| 新型コロナウイルス感染症（週報）※ ¹ | | | | 4,264 |
| 新型コロナウイルス感染症による入院患者（週報）※ ² | | | | 218 |
| 急性出血性結膜炎（週報） | | — | — | — |
| 流行性角結膜炎（週報） | | 8 | 6 | 16 |
| 性器クラミジア感染症（月報） | 男 | 38 | 44 | 43 |
| | 女 | 56 | 64 | 54 |
| | 計 | 94 | 108 | 97 |
| 性器ヘルペスウイルス感染症（月報） | 男 | 40 | 43 | 30 |
| | 女 | 24 | 67 | 63 |
| | 計 | 64 | 110 | 93 |
| 尖圭コンジローマ（月報） | 男 | — | 4 | 1 |
| | 女 | 5 | 7 | 16 |
| | 計 | 5 | 11 | 17 |
| 淋菌感染症（月報） | 男 | 31 | 30 | 24 |
| | 女 | 15 | 15 | 7 |
| | 計 | 46 | 45 | 31 |
| 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）（週報） | | — | — | — |
| クラミジア肺炎（オウム病を除く）（週報） | | — | — | — |
| 細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。）（週報） | | 4 | 2 | 2 |
| ペニシリン耐性肺炎球菌感染症（月報） | | — | — | — |
| マイコプラズマ肺炎（週報） | | — | — | 7 |
| 無菌性髄膜炎（週報） | | 3 | — | 6 |
| メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症（月報） | | 1 | — | 1 |
| 薬剤耐性緑膿菌感染症（月報） | | — | — | — |
| 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症 | | — | — | — |

※¹ 令和5年第19週から

※² 令和5年第39週から

3 特定感染症対策事業

H I V感染症を含めた性感染症（梅毒、淋菌、性器クラミジア感染症）の感染拡大防止を図るため、知識啓発の健康教育や相談を行うとともに、毎週1回の昼間検査と毎月1回の夜間検査を実施している。さらに、検査機会の一層の拡大のため、「H I V検査普及週間（6月1日から7日）」及び「世界エイズデー（12月1日）」に合わせて特別検査を実施している。

また、国の肝炎総合対策に基づき、肝炎に関する相談と、B型・C型肝炎のウイルス検査を無料で実施している。その他、感染者の肝炎治療に係る経済的負担を軽減するために、愛知県の実施する医療給付事業の申請等を受付している。

(1) エイズ及び性感染症対策事業

ア H I V感染症・性感染症検査及び相談 (単位：件)

| HIV感染症検査 | 梅毒検査 | 性器クラミジア検査 | 淋菌検査 | 相談 |
|----------|---------|-----------|-------|----|
| 419(2) | 388(11) | 43(4) | 43(0) | 10 |

※()内は陽性件数

イ 特別検査におけるH I V感染症検査（再掲） (単位：件)

| HIV検査普及週間（6月1日） | 世界エイズデーHIV検査（11月29日） |
|-----------------|----------------------|
| 2(0) | 8(0) |

※()内は陽性件数

ウ H I V感染症確認検査（再掲） (単位：件)

| 件数 | 2(2) |
|----|------|
| | |

※()内は陽性件数

(2) 肝炎ウイルス対策事業

ア B型肝炎・C型肝炎検査及び相談 (単位：件)

| B型肝炎検査 | C型肝炎検査 | 相談 |
|--------|--------|----|
| 172(2) | 151(0) | 34 |

※()内は陽性件数

イ 医療給付事業の申請書等受付状況 (単位：件)

| | |
|--------------------|-----|
| 医療給付事業申請書 | 203 |
| 医療給付事業申請書記載事項変更届出書 | 15 |
| 医療給付事業所得状況変更申請書 | — |
| 受給者票有効期間延長届出書 | — |
| 受給者票返納届出書 | 2 |
| 受給者票再交付申請書 | 1 |
| 受給者票転入届出書 | 2 |
| 医療給付事業申請の取下げ届出書 | 1 |
| 受給者票有効期間修正願 | — |

(3) 啓発事業

| 実施行事名 | 実施日 | 内容 |
|--|--------|---|
| 世界エイズデー (World AIDS Day : 12月1日) | 11月16日 | 働き世代の健康情報 (メール、FAX、郵送による企業等への啓発 (138か所)) |
| | 11月27日 | エフエムEGAO (えがお) 「市役所探訪 保健所からの健康お助け 情報」 (FMラジオ放送による啓発) |
| | 11月30日 | 性風俗店事務所への啓発巡回 (7事業所を訪問し啓発品を配布) |

4 新型コロナウイルス感染症対応

令和5年度当初は、前年度末の第8波もほぼ収束に向かい、患者数は日に数人から数十人と一時期と比較し大きく減少していた。そして、再度の患者数の急激な増加を認めることなく、5月8日の新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けの5類移行を迎えることができた。

陽性者数の把握・公表方法については、5月7日までは全数把握により毎日公表していたが、5月8日以降は定点把握となり週1回の公表となった。

また、5類移行により新型コロナウイルス感染症へのその他の対応も大きく見直された。陽性者の療養期間は「7日間」から「5日間を推奨」とされ、診療対応は「診療・検査医療機関」から「外来対応医療機関」となり幅広い医療機関で受診できる体制へ移行された。入院調整は「保健所による調整」から「医療機関間での調整」を基本とするようにされたが、円滑な移行のため愛知県が入院調整の相談や代行をする「入院調整・相談窓口」を設置した。医療費（外来・入院）の公費負担については、基本的には自己負担となったが、コロナ治療薬の公費負担や入院費の減額は継続された。検査体制では、医療機関での公費負担による検査や保健所での濃厚接触者への検査は終了したが、施設等での陽性者発生時や従業員へのスクリーニング検査は継続された。自宅療養支援について、保健所による健康観察、配食、宿泊療養、パルスオキシメーター貸出は5類移行に伴い終了したが、交通手段がない透析患者等に限って受診搬送は継続された。相談対応では、一般相談は終了したが、受診・相談センターと健康相談センターは統合して継続された。

このように、令和5年度は新型コロナウイルス感染症対応の大きな転換期となる年であった。

(1) 相談体制

ア 一般相談窓口（令和2年2月12日設置）

新型コロナウイルス感染症に関する一般的な相談について午前9時から午後5時まで（土・日曜日、祝日を除く）対応し、令和5年5月8日新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行した際に終了した。

イ 受診・相談センター（令和2年10月26日設置）

発熱があった場合の医療機関への受診相談などについて24時間体制で対応し、令和5年5月8日新型コロナウイルス感染症の5類移行後は、受診・相談センターと健康相談センターを統合して継続した。

相談件数

< 5類以降前 > （単位：件）

| 4月 | 5月 | 計 |
|-----|-----|-----|
| 516 | 200 | 716 |

< 5類移行後 >

（単位：件）

| 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-----|-----|-------|-------|-------|-----|-----|-----|
| 348 | 632 | 1,078 | 1,999 | 1,276 | 412 | 319 | 477 |
| 1月 | 2月 | 3月 | 計 | | | | |
| 717 | 456 | 197 | 7,911 | | | | |

ウ 健康相談センター（令和4年9月1日設置）

陽性者や濃厚接触者の体調悪化時等の健康相談について24時間体制で対応し、令和5年5月8日新型コロナウイルス感染症の5類移行後は、受診・相談センターに統合された。

相談件数 (単位：件)

| 4月 | 5月 | 計 |
|-----|----|-----|
| 113 | 47 | 160 |

エ 陽性者登録センター（令和4年9月5日設置）

抗原検査キットの自己検査により陽性となった者のうち、医療機関の受診が必要のない無症状者などに対し「陽性者登録センター」の医師がWEBにより陽性診断を行った。令和5年5月8日新型コロナウイルス感染症の5類移行により終了した。

陽性診断 (単位：件)

| 4月 | 5月 | 計 |
|----|----|----|
| 28 | 8 | 36 |

(2) 検体採取・検査体制

濃厚接触者や高齢者・障がい者施設・学校・保育園等の集団検査については、保健所が検体採取やPCR検査を実施した。また、症状があり受診が必要と判断した場合や、乳児等でだ液採取が困難な場合は、岡崎市民病院に設置された「発熱外来」でPCR検査を実施した。

なお、令和4年2月から検査の一部を外部委託することにより、保健所本来の検査機能を維持するとともに、感染拡大時の検査対応能力を拡充した。令和5年5月8日新型コロナウイルス感染症の5類移行後は、高齢者・障がい者施設について陽性者発生時の検査を継続した。

PCR検査 (単位：件)

| 検査月 | 保健所 | 発熱外来 | 委託検査 | 計 |
|-----|-----|------|------|-----|
| 4月 | 46 | — | 84 | 130 |
| 5月 | 47 | — | 66 | 113 |
| 6月 | 8 | — | — | 8 |
| 7月 | 44 | — | — | 44 |
| 8月 | 19 | — | 27 | 46 |
| 9月 | — | — | — | — |
| 10月 | — | — | — | — |
| 11月 | — | — | — | — |
| 12月 | — | — | — | — |
| 1月 | — | — | — | — |
| 2月 | — | — | — | — |
| 3月 | — | — | — | — |
| 計 | 164 | — | 177 | 341 |

※検査件数には同一人物に対する複数検体の計上を含む。

(3) 診療体制

発熱患者等に対し適切な医療提供体制を確保するため、発熱時における受診相談窓口を設置するとともに、自宅療養者へ医療提供する医療機関等に対し協力金を交付（自宅療養者等医療提供事業）した。新型コロナウイルス感染症の5類移行により終了した。

ア 自宅療養者等医療提供事業申請状況 (単位：施設)

| | | |
|-----------|------------|----|
| 診療・検査医療機関 | 訪問看護ステーション | 薬局 |
| 299 | 11 | 27 |

イ 自宅療養者等医療提供事業実施状況 (単位：件)

| 実施月 | 電話・ オンライン 診療 | 往診 | 外来診療 | 訪問看護 電話等 | 訪問看護 平日通常 | 訪問看護 平日夜間等 | 訪問看護 平日深夜等 | 服薬指導 |
|------|--------------------|----|------|-------------|--------------|---------------|---------------|------|
| 4・5月 | 76 | 1 | 429 | — | 1 | — | — | 18 |

(4) 患者発生状況

ア 新規感染患者数 (年代別) (令和5年4月1日から令和5年5月7日まで)

(単位：人)

| 年代層 | 患者数 |
|-------|-----|
| 10歳未満 | 65 |
| 10歳代 | 77 |
| 20歳代 | 125 |
| 30歳代 | 147 |
| 40歳代 | 103 |
| 50歳代 | 107 |
| 60歳代 | 83 |
| 70歳代 | 52 |
| 80歳代 | 22 |
| 90歳以上 | 4 |
| 不明 | — |
| 計 | 785 |

イ 死亡数

令和5年4月1日から令和5年5月7日までにおける新型コロナウイルス感染症患者の死亡者はなかった。

(5) 積極的疫学調査

感染者に対する聞き取り調査により、体調の確認、行動歴からの感染源の推定や濃厚接触者の特定などを行った。濃厚接触者に対しては、速やかにPCR検査の受検を案内し、検査結果が陰性であっても、最終接触日から5日間(令和4年1月28日から令和4年7月21日までは7日間)の不要不急の外出自粛の要請や感染の防止に必要な協力の要請、電話、メール、HER-SYS(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム)等による健康観察を行った。

令和3年度から令和4年度にかけて続いた「第6波」では、「第5波」以上に感染者が増加した。新規陽性者の全例調査を優先するため、接触者の調査対象を重症化しやすいハイリスク者の集団(医療機関、高齢者・障がい者施設等)やクラスター発生リスクの高い集団(保育園・幼稚園、小中学校)に重点化し、第7波以降も同様の対応を継続した。

令和5年5月8日新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行した後は、その他の感染症と同様に、集団発生が生じた社会福祉施設等に対して、積極的疫学調査を実施した。

(6) 患者クラスター（集団）対策

感染の流行を早期に終息させ、患者クラスター（集団）が次のクラスター（集団）を生み出すことを防止するため、濃厚接触者を中心に感染経路を追跡調査することに努めた。

高齢者施設等において集団感染が疑われる事例が発生した際には、感染状況等を把握するため、立ち入り調査を実施するなど早期に施設に介入した。また、必要に応じて愛知県にDMAT（災害派遣医療チーム）隊員の資格を持つ医師等による医療体制緊急確保チームの派遣を要請し、感染拡大防止や早期終息に向けた支援を実施した。

なお、同一空間、同一時間帯を共有した人の中で感染が広まり、10人以上の感染者が発生した場合に、患者クラスターが発生したと判断している。また、同一施設内における2次感染以降の感染者も患者クラスターに含めている。

ア クラスター発生状況（単位：件）

| 施設種別 | 計 |
|--------|----|
| 高齢者施設 | 24 |
| 障がい者施設 | 2 |
| 医療機関 | 5 |
| 計 | 31 |

(7) 自宅療養者への支援

自宅療養者に対しては、健康観察や入院・受診調整を始め、体調悪化時等の電話相談、パルスオキシメーターの貸出し、受診搬送、配食サービス等を行うことにより、安心して自宅療養できる支援体制を整備した。令和5年5月8日新型コロナウイルス感染症の5類移行により終了した。

ア 配食サービス（単位：人）

| 4月 | 5月 | 計 |
|-----|----|-----|
| 176 | 43 | 219 |

イ パルスオキシメーターの貸与（単位：件）

| 4月 | 5月 | 計 |
|----|----|----|
| 74 | 23 | 97 |

ウ 自宅療養者の受診搬送（外部委託分）（単位：件）

| 4月 | 5月 | 計 |
|----|----|---|
| 3 | 2 | 5 |

5 新興感染症対策

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがある感染症（新興感染症）の発生及びまん延に備えるため、令和4年12月9日に感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律が改正され、令和6年4月1日までに順次施行されることとなった。法の一部改正により、国が策定する基本指針及び都道府県が策定する予防計画の記載事項を充実させるほか、保健所設置市においても予防計画を定めるなど、感染症対策の一層の充実を図ることとなった。

これらを踏まえ、基本指針及び愛知県が策定する愛知県感染症予防計画に即して、岡崎市感染症予防計画を令和6年3月に定め、これに基づき新興感染症発生時への各種対策の準備を進めることとしている。

(1) 愛知県感染症対策連携協議会

愛知県が、予防計画の実施状況・その実施に有用な情報を共有することで関係機関間の連携強化を図り、感染症発生・まん延時には必要な対策の実施について協議するよう努めるため、管内保健所設置市、医療関係者、消防機関その他関係機関を構成員とする連携協議会を創設した。令和5年度は主に愛知県感染症予防計画の策定について協議を行った。

ア 愛知県感染症対策連携協議会

| 実施日 | 議題 |
|--------|---|
| 7月7日 | <ul style="list-style-type: none">・愛知県感染症対策連携協議会の立ち上げについての承認・愛知県感染症予防計画についての承認・諸協定締結についての承認 |
| 10月23日 | <ul style="list-style-type: none">・愛知県感染症予防計画（原案）の承認について・各種協定案の承認について |
| 1月31日 | <ul style="list-style-type: none">・愛知県感染症予防計画（案）の承認について・保健所設置市感染症予防計画（案）の承認について・各協定締結に向けた今後の方針の承認について |

イ 検討部会

| 部会名 | 実施日 | 議題 |
|-------------|-------|--|
| 医療に関する検討部会 | 9月29日 | <ul style="list-style-type: none">・各種事前調査に関する実施状況と回答について・愛知県感染症予防計画について・各種協定締結について |
| | 1月18日 | <ul style="list-style-type: none">・愛知県感染症予防計画について・各種協定締結に向けた今後の方針について |
| その他に関する検討部会 | 10月2日 | <ul style="list-style-type: none">・愛知県感染症予防計画について・協定締結について |
| | 1月18日 | <ul style="list-style-type: none">・愛知県感染症予防計画について・各種協定締結に向けた今後の方針について |

(2) 岡崎市感染症対策協議会

岡崎市内における感染症のまん延防止や、感染症に対する市民の不安解消を図るための必要な対策を実施するにあたり、医療関係団体などの関係機関との意見交換を行う場として設置するものであり、令和5年度は岡崎市感染症予防計画の策定について協議した。

| 実施日 | 構成員 | 議題 |
|-------|--|-------------------|
| 9月28日 | 岡崎市医師会、岡崎市歯科医師会、岡崎薬剤師会、医療機関（岡崎市民病院、藤田医科大学岡崎医療センター、宇野病院）、岡崎市消防本部、岡崎市保健所 | 岡崎市感染症予防計画の策定について |
| 1月25日 | | 岡崎市感染症予防計画（案）について |

(3) 岡崎市感染症予防計画

「岡崎市感染症予防計画」を令和6年3月18日に策定し公表した。

6 結核対策

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（平成10年法律第114号、以下「法」という。）に基づき、主に結核患者の治療支援や、結核の早期発見のための健康診断を実施している。また、感染症診査協議会を開催し、患者に対する就業制限や入院勧告等の実施、結核医療費の公費負担を行っている。

(1) 結核患者及び死亡状況

(単位：人・率・年)

| | 結核死亡者数 | | 新登録患者数 | | | | 年末時登録者数 | | | 人口 |
|--------------|--------|-----|--------|-----|-------|--------|---------|-------|-----|-------------|
| | 総数 | 死亡率 | 総数 | り患率 | 菌陽性数 | 菌陽性り患率 | 総数 | 活動性結核 | 有病率 | |
| 岡崎市 | 0 | 0 | 25 | 6.5 | 12 | 3.1 | 65 | 20 | 5.2 | 381,893 |
| 愛知県 (R4年) | 97 | 1.3 | 724 | 9.7 | 245 | 3.3 | 1,641 | 482 | 6.4 | 7,497,521 |
| 全 国 (R4年) | 1,664 | 1.4 | 10,235 | 8.2 | 3,703 | 3.0 | 24,555 | 6,782 | 5.4 | 124,947,000 |

「愛知県」は名古屋市を含む。「岡崎市」の結核死亡者数については概数である。

※人口は10月1日現在

※率は人口10万人あたり

※菌陽性り患率は、喀痰塗抹陽性肺結核患者のり患率とした。

※結核死亡者数は、人口動態統計による。

(2) 全登録者の状況

(単位：人・年)

| | 総数 | 活動性結核 | | | | | | | | | 不活動性結核 | 活動性不明 | 潜在性結核感染症(別掲) | |
|-----------|----|-------|--------|-----------|----------|-----|------------------------------|--------------------|---------------------|-----|--------|-------|--------------|---|
| | | 総数 | 肺結核活動性 | | | | | | 肺 外 結 核 活 動 性 | 治療中 | | | 観察中 | |
| | | | 総数 | 登録時喀痰塗抹陽性 | | | 登録時 その 他の 結核 菌陽性 | 登録時 菌陰性 ・その他 | | | | | | |
| | | | | 総数 | 初回 治療 | 再治療 | | | | | | | | |
| 入 院 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 外来(他疾患入院) | 1 | 1 | — | — | — | — | — | — | — | 1 | — | — | — | — |
| 外来(通院) | 17 | 17 | 13 | 7 | 7 | — | 6 | — | — | 4 | — | — | 5 | — |
| 治 療 な し | 45 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 40 | 5 | — | 7 |
| 不 明 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 総 数 | 65 | 20 | 15 | 9 | 9 | — | 6 | — | — | 5 | 40 | 5 | 5 | 7 |

(3) 新登録患者の状況

(単位：人・年)

| 区分 年 齢 | 活 動 性 結 核 | | | | | | | | 潜在性 結 核 感染症 (別掲) 治療中 |
|-----------|-----------|--------|--------|----------|-----|-------------------|-----------------|---------------------|----------------------------------|
| | 総 数 | 肺結核活動性 | | | | | | 肺 外 結 核 活 動 性 | |
| | | 総数 | 喀痰塗沫陽性 | | | その他 の結核 菌陽性 | 菌陰性 ・ その他 | | |
| | | | 総数 | 初回 治療 | 再治療 | | | | |
| | 25 | 18 | 12 | 12 | — | 6 | — | 7 | 7 |
| 0～4歳 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 5～9歳 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 10～14歳 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 15～19歳 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 20～29歳 | 1 | 1 | 1 | 1 | — | — | — | — | — |
| 30～39歳 | 2 | 2 | 1 | 1 | — | 1 | — | — | — |
| 40～49歳 | 1 | — | — | — | — | — | — | 1 | 1 |
| 50～59歳 | 4 | 3 | 3 | 3 | — | — | — | 1 | — |
| 60～69歳 | 2 | 2 | — | — | — | 2 | — | — | 1 |
| 70～79歳 | 7 | 6 | 3 | 3 | — | 3 | — | 1 | 2 |
| 80歳以上 | 8 | 4 | 4 | 4 | — | — | — | 4 | 3 |

(4) 保健指導

(単位：人)

| 相談 | | 訪問指導 | | | |
|------|------|----------|----|----------|----|
| 電話 | 来所 | 実人員 | | 延べ人員 | |
| 延べ人員 | 延べ人員 | (再掲)DOTS | | (再掲)DOTS | |
| | | 35 | 70 | 27 | 27 |

(5) 結核菌の遺伝子型別検査 (VNTR) (単位：件)

| | |
|----|---|
| 件数 | 2 |
|----|---|

(6) 管理検診実施状況

(単位：人)

| 受診者数 | 要医療者数 | 判 定 | | 観察不要の者 |
|------|-------|-----------|-----------|--------|
| | | 要 観 察 | | |
| | | 医療終了後2年未満 | 医療終了後2年以上 | |
| 25 | 11 | 8 | — | 6 |

(7) 健康診断実施状況

(単位：人)

| 区 分 | | 受診者 | ツベルクリン 反応検査 | | IGRA 検査 | 直接 撮影 | 喀痰 検査 | 発見者数 | | |
|-----|-------|--------|----------------|------|------------|----------|----------|----------|-------------------|-----------------------|
| | | | 被注射者 | 被判定者 | | | | 結核 患者 | 潜在性 結 核 感染者 | 発 病 の お それ がある者 |
| 定 期 | 住 民 | 49,424 | / | / | / | 49,424 | / | 3 | — | 1 |
| 定期外 | 患者家族 | 32 | — | — | 29 | 31 | — | — | 3 | — |
| | 接 触 者 | 10 | — | — | 7 | 10 | — | — | — | — |
| 計 | | 49,466 | — | — | 36 | 49,465 | — | 3 | 3 | 1 |

(8) 感染症診査協議会診査報告状況（結核）

開催回数14回 (単位：件)

| | |
|--------------------|----|
| 就業制限診査（法第18条） | 14 |
| 入院勧告報告（法第19条） | 9 |
| 入院勧告診査（法第20条第1項） | 9 |
| 入院勧告延長診査（法第20条第4項） | 25 |
| 医療費公費負担診査（法第37条の2） | 42 |

(9) 結核医療費公費負担状況

ア 法第37条の規定による結核医療費の被保険者等別公費負担状況 (単位：件・年)

| | 被用者保険 | | 国民健康保険 | | | 高齢医療 | 生活保護法 | その他 | 計 |
|---------|-------|----|--------|------|------|------|-------|-----|----|
| | 本人 | 家族 | 一般 | 退職本人 | 退職家族 | | | | |
| R4年末現在 | 1 | — | — | — | — | — | — | — | 1 |
| R5年中承認数 | 3 | — | 3 | — | — | 6 | — | — | 12 |
| R5年中解除数 | 4 | — | 2 | — | — | 5 | — | — | 11 |
| R5年末現在 | — | — | 1 | — | — | 1 | — | — | 2 |

イ 法第37条の2の規定による結核医療費の被保険者等別公費負担状況 (単位：件・年)

| | 被用者保険 | | 国民健康保険 | | | 高齢医療 | 生活保護法 | その他 | 計 |
|----|-------|----|--------|------|------|------|-------|-----|----|
| | 本人 | 家族 | 一般 | 退職本人 | 退職家族 | | | | |
| 申請 | 11 | 3 | 6 | — | — | 15 | — | — | 35 |
| 適正 | 11 | 3 | 6 | — | — | 15 | — | — | 35 |
| 承認 | 11 | 3 | 6 | — | — | 15 | — | — | 35 |

ウ 法別診療報酬支払状況 (単位：件)

| | 法第37条の2 | 法第37条 | 計 |
|-----------|---------|-------|-----|
| 社会保険支払基金分 | 106 | 10 | 116 |
| 国保連合会分 | 173 | 30 | 203 |
| 計（延件数） | 279 | 40 | 319 |

(10) 結核指定医療機関指定状況

ア 申請・届出状況 (単位：件)

| | 病院・診療所 | 薬局 | 計 |
|---------|--------|----|----|
| 指定申請 | 2 | 11 | 13 |
| 変更届 | — | 1 | 1 |
| 辞退届 | 1 | 5 | 6 |
| 死亡・失そう届 | — | — | — |
| 計 | 3 | 17 | 20 |

イ 指定状況（令和6年3月31日現在） (単位：件)

| 病院 | 診療所 | 薬局 | 計 |
|----|-----|-----|-----|
| 12 | 140 | 159 | 311 |

(11) 結核研修会

(単位：人)

| 開催日 | テーマ | 対象者 | 参加者数 |
|-------|--------------|-------------|------|
| 12月7日 | 高齢者施設と結核について | 岡崎市高齢者施設関係者 | 70 |

※ 岡崎市感染症対策講演会において同時実施

(12) 結核予防対策事業費補助金

法第60条（地方自治法施行令第174条の49の16による準用による。）の規定により、学校又は施設の長が行う結核の定期健康診断事業について補助を行った。

(単位：件)

| 交付先 | 法人数 |
|------|-----|
| 私立学校 | 11 |